

# 飯岡の良さを新旭市の中でもっと伸ばします

## 日本共産党・島田正治 9月議会報告

合併後初めての旭市定例議会が9月21日から開かれ、旧飯岡町議の日本共産党島田正治市議会議員が、一般質問で飯岡地域住民の願いを新市に届けました。

### 「ふれあい号」いつそう便利に

2003年8月より旧飯岡町で運行開始した循環バス「ふれあい号」は昨年度利用者が3万5685人に達し、とくにお年寄りが福祉施設を利用する場合は、なくてはならない「足」、身近な交通手段として、すでに定着しています。

島田議員は、合併を機に、市役所や旭中央病院など、公共施設を結ぶ循環バスへと拡張することを求めました。

これに対し、市長は検討委員会を作り前向きに検討することを約束しました。

### 飯岡のゆたかな観光資源を生かせ

飯岡漁港は、県下でも有数の漁獲高を誇り、新鮮な魚介類の供給基地となっています。また釣り船などの観光漁業もさかんで、飯岡灯台や刑部岬展望館、屏風ヶ浦などの観光資源もあります。

島田議員は、バイパスや旧国道から海岸に向かう道路の拡幅整備や、地元の魚介類・農産物の販売所など、もっと観光資源を生かして飯岡地域を発展させよと主張し、市長も前向きに答えました。



### 全小学校区で5人から学童保育を

昨年、新興住宅の若いお母さんたちから、学童保育がほしいという声が寄せられました。島田議員が紹介議員となった請願が全会一致で採択され、三川小学校で5人からの学童保育がはじまりました。

ところが旭市は最低10人という基準です。島田議員は、人口減を食い止めるためにも、少子化対策が重要だと、まだ未設置の所も含め、全小学校区で5人からの学童保育設置を要求しました。

### みなさんと歩んだ18年 今度は高田のり子さんへバトンタッチ

日本共産党旭市議会議員・前飯岡町会議員 島田正治



日本共産党議員としての私のモットーは、いつでも「住民の福祉の増進を図る」(地方自治法第1条2項)ためにがんばることです。

少々がんばりすぎて、体調も崩しましたが、町民のためにたたかい抜いた18年を誇りに思い、支えていただいた住民のみなさんに深く感謝しています。

高田のり子さんは、介護事業や産直運動の経験を生かし、飯岡の良さを新市のなかでさらに伸ばす活動の先頭に立ってがんばられる人です。これまでに倍するご支援を、日本共産党と高田のり子さんによるしく願います。

飯岡民報

2005年10月号外  
日本共産党飯岡支部の政策をお知らせ  
します。連絡先：☎57-3642

飯岡住民とともに歩んだ18年

# かけがえのない議席を旭市でも



党旭市福祉・環境部長

## 高田のり子

島田正治議員のがんばりを受け継ぎ  
みなさんの願い実現に全力をあげます

一九五二年福島県会津若松市生まれ 県立会津女子高・京都成安女子短大卒 障害者施設、旬の味産直センターなどに勤務  
現在、介護事業NPO「ひなたぼっこ」役員、新日本婦人の会海上班長、エコテック産廃処分場許可取り消し裁判原告、党旭市福祉・環境部長 家族は夫と三男、犬のピース 趣味は染色、絵画、パンづくり

### 農漁業・観光振興でだれもが豊かに



「耕運機を担いで田んぼを登り降りしていた」状態から、農地改良事業を積極的に推進。国や県と交渉し、国事業の農家負担金はゼロに、県事業でも負担を15%

から10%に下げさせました。

また、飯岡漁港を中心とする観光開発にも積極提案。飯岡灯台のライトアップ、土産物センターなどの提案に新市の市長も「できるところからやりたい」と。



### 「飯岡民報」で町政の問題をお知らせ

島田正治議員が初当選していきなり遭遇したのは、ユートピアセンター建設にからむ疑惑事件です。

議会は百条委員会(地方自治法で定められた強力な権限をもつ調査委員会)を設置。島田議員は覚えたてのワープロで「飯岡民報」を連続的に発行し、疑惑解明の先頭に立ちました。



以来、3代目のワープロが壊れるまで「飯岡民報」は60号を超え、町民に親しまれました。

### きめ細かく福祉・くらしを充実

豪華すぎる保健福祉センターについても、「せっかく造ったものだから、町民に大いに役立つものに」と介護支援の中心施設にするように提唱。いまではデイサービスセンターとして、たいへん喜ばれています。

島田議員は、国保税引き下げにもとりくみ、3期目には1世帯5000円の引き下げを実現。当時としては1市3町の中でもっとも負担が軽くなりました。その他に、ゴミ袋の値下げなども実現してきました。



### 町の将来へ、循環バス・学童保育

島田議員は、人口が減っているのに世帯数が大幅に増え、核家族化が進んでいる飯岡地域の特徴を分析。町の将来のために高齢化対策と同時に、手厚い少子化対策が必要と主張してきました。

路線バスが廃止される前から、町営の循環バスを提案し、廃止直後に実現。近隣市町村の循環バスよりもきめ細かく運行し、住民からたいへん喜ばれています。

昨年度は、新興住宅のお母さんたちと連携し、少人数学童保育を実現しました。



日本共産党が、旧飯岡町で初議席を得たのは今から18年前。それ以来、日本共産党の議員は、不正とムダづかいに立ち向かい、議会ごとの質問で、市民の願いを町政に届けてきました。議会外でも、農地改良事業など、飯岡地域の発展のためにがんばってきました。